平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	14	―	2

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	消防資機材整備事業					
評価者	担当課名		消防	担当係名		警防係
	管理職	職名	支署長	作成者	職名	係長
		氏名	豊田　通敏		氏名	佐藤和幸
事業の概要	老朽化していく、消防資機材の充実を図り、災害時での威力を発揮し、町民の生命、身体、財産を守るための購入事業である。					

全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	千円
	事業費計	千円

実施方法	■ 直営	民間委託	その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業	非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～
	基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化
	単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務
	その他計画・根拠等	消防法、消防力の基準、救急業務実施基準	

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額	967 千円	888 千円	2,715 千円	1,200 千円	1,360 千円
	合計	967 千円	888 千円	2,715 千円	1,200 千円	1,360 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	職員（町民）	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	現在の災害は、年々複雑かつ多様化してきておりこれに対応するためには、消防資機材の更新や新規購入を実施していく必要がある。	多様化する災害に向けた消防資機材の充実		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	現在消防で保有している消防用資機材は、老朽化又は不足しているため、災害現場において活動に支障を来すことが無いよう、より効果的な資機材の充実を目指した。	① 空気呼吸器　3基 消防用ホース50mm　24本 軽量管鎗　3本 救助用資機材　一式 鋼管3連梯子　1基 新型インフルエンザ対策用資機材　一式	目標年度	平成24年度
			目標値	別記5
			実績値	別記5
			達成度	#VALUE! %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	消防の任務は国民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることであるため迅速かつ適切な消火活動ができるようにする。	② 空気呼吸器予備ボンベ5本 救急資機材保守点検 火災用防火衣更新	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
選定会議	職員間で資機材の選定会議を実施し、購入予定資機材の実演を行い、使い易さなどを確認する。
消防資機材購入	空気呼吸器用予備ボンベ5本購入 三連梯子1基・救助資機材一式購入 新型インフルエンザ対策用資機材一式購入

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	■義務的なもの □全部 ■一部	国が定める消防力の整備基準に従い、それに対応する消防資機材を常に確保（整備）しておく必要がある。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	高度化する消火、救助及び救急活動に充分対応できる資機材が確保できた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	災害現場での活動が容易になる。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	消防資機材整備事業は、その資機材を使用して町民の生命、身体　　及び財産を災害や事故から守ることに使用するための事業である　　ため公平と考える。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画通り事業が進んでいる。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
この事業は、本町消防力の水準を高めるため適切に整備していく。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

20年度　空気呼吸器購入　100％
21年度　軽量管鎗購入　100％　消防ホース購入　50％
22年度　空気呼吸器予備ボンベ購入　100％
三連梯子・救助資機材一式購入　100％
新型インフルエンザ対策用資機材購入　100％
23年度　救急資機材保守点検実施予定
消防ホース購入予定
24年度　救急資機材保守点検実施予定
火災用防火衣更新予定